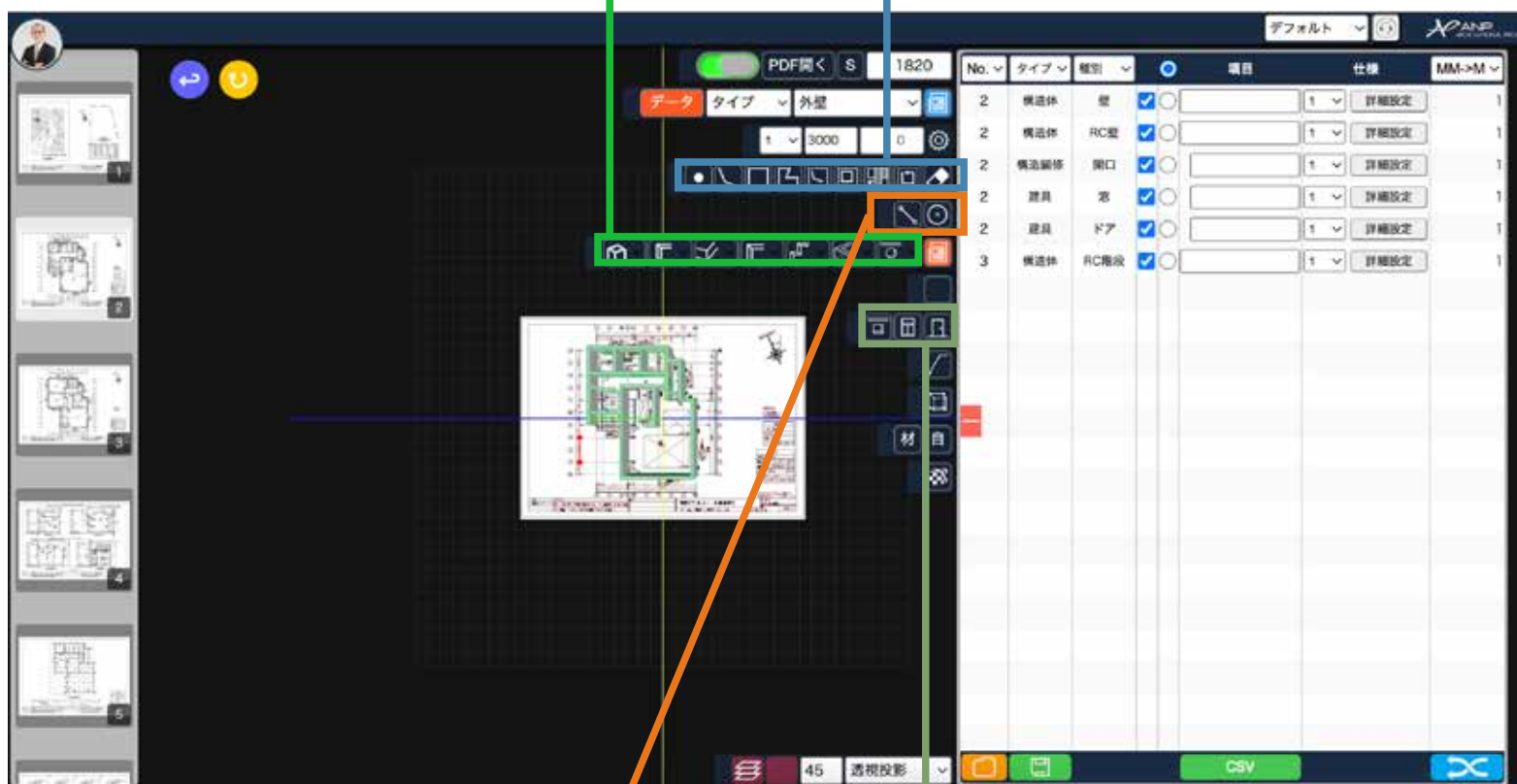


画面上のアイコン



テクスチャー



線 (補助線) 円



壁開口 窓 ドア



データ表開閉

アップした PDF 図面の保存



保存状態



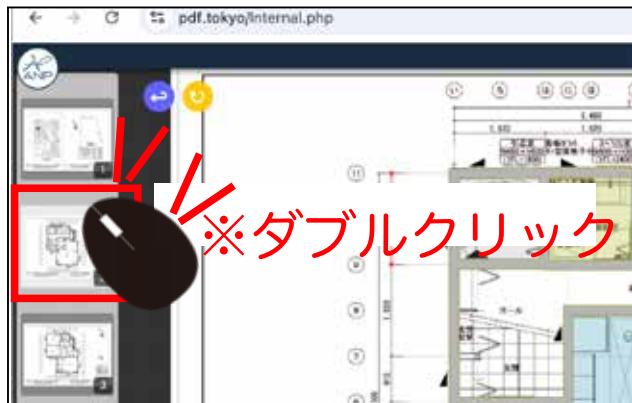
未保存

PDF開く

PDF 図面アップロード

画面操作方法

画面左部分から目的のページを**ダブルクリック**します。図面が表示されます。



【拡大・縮小】

図面上で、マウスホイールを上下に操作します。



画面全体で拡大・縮小はしないでください。

【図面位置移動】

マウスホイールを**押したまま**動かして移動します。



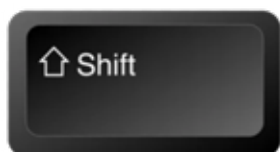
【3D時 360° 操作】

マウスホイールを**押したまま**動かします。



【3D時 上下左右移動】

Shift + マウスホイールを**押したまま**上下左右に動かします。



+



※マウスホイールがないマウス
図面の位置移動はキー
で操作できます。



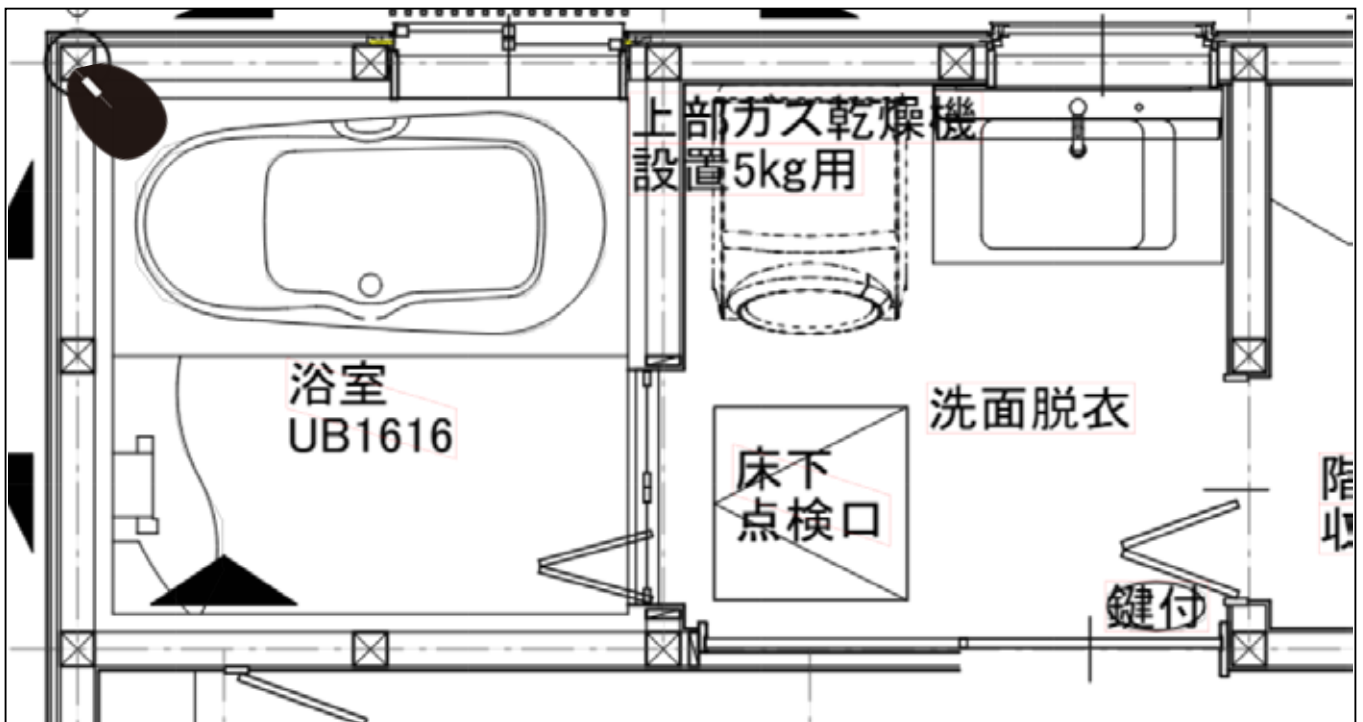
①壁の作り方

基準線の設定が終了している必要があります。

- 1)  をクリックします。



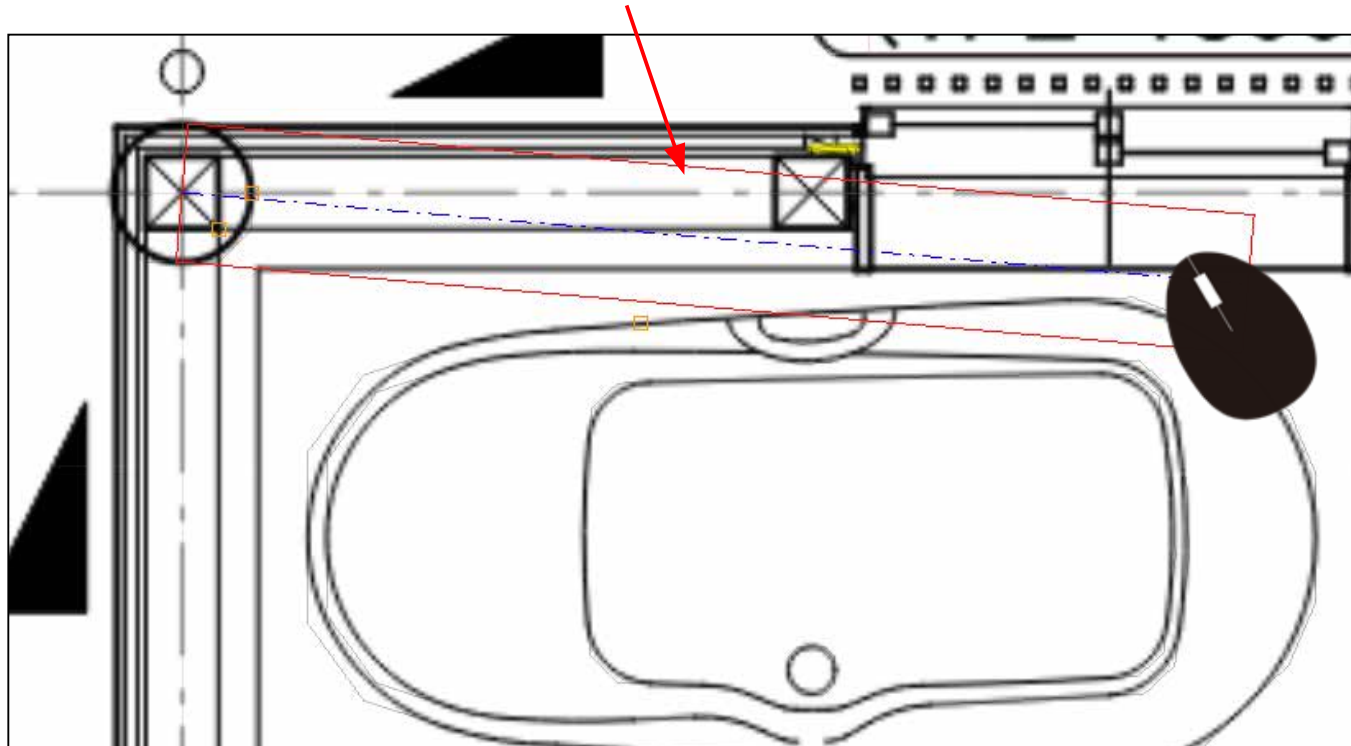
- 2) マウスで壁になる部分をなぞります。



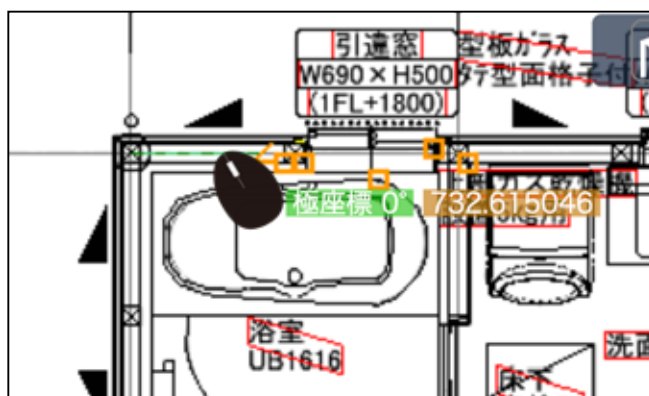
- 3) かなり拡大した方が正しく拾えます。**交点**のマークが出たらマウスでクリックします。



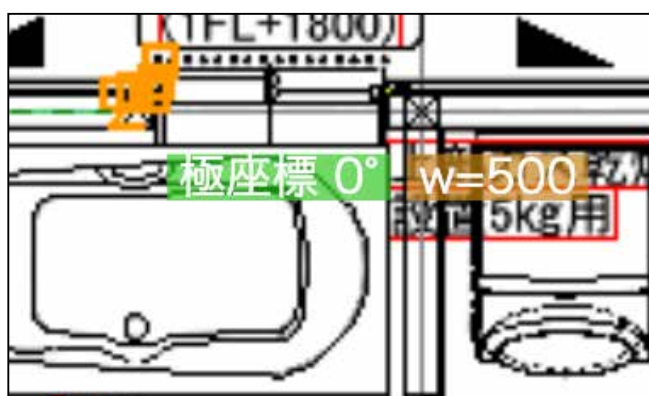
4) 始点から線を引くと、壁がついてきます。



応用（上級者向け）



壁の引きはじめの場合、マウスを止めて、直接壁厚を指定できます。



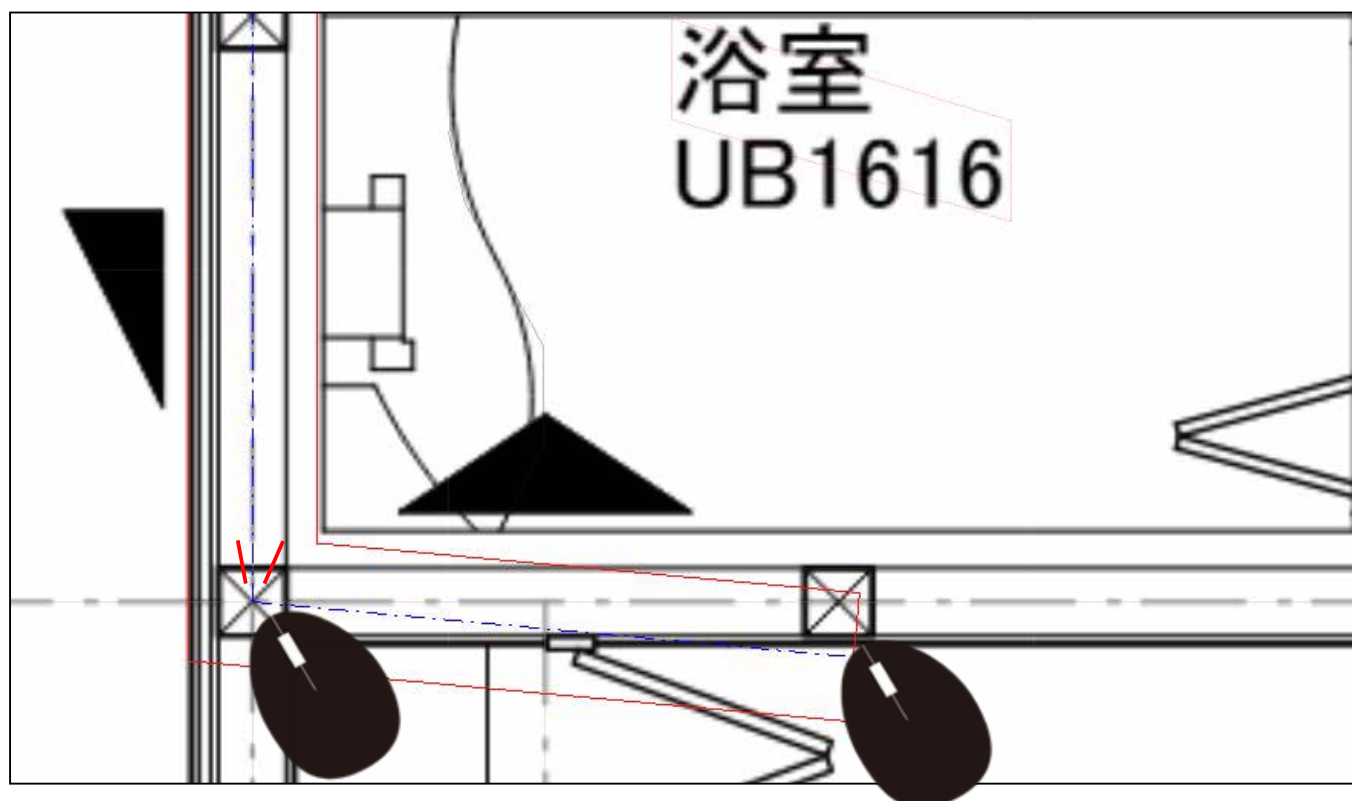
直接、 $w = \bigcirc\bigcirc\bigcirc$ と、指定します。

【注意】

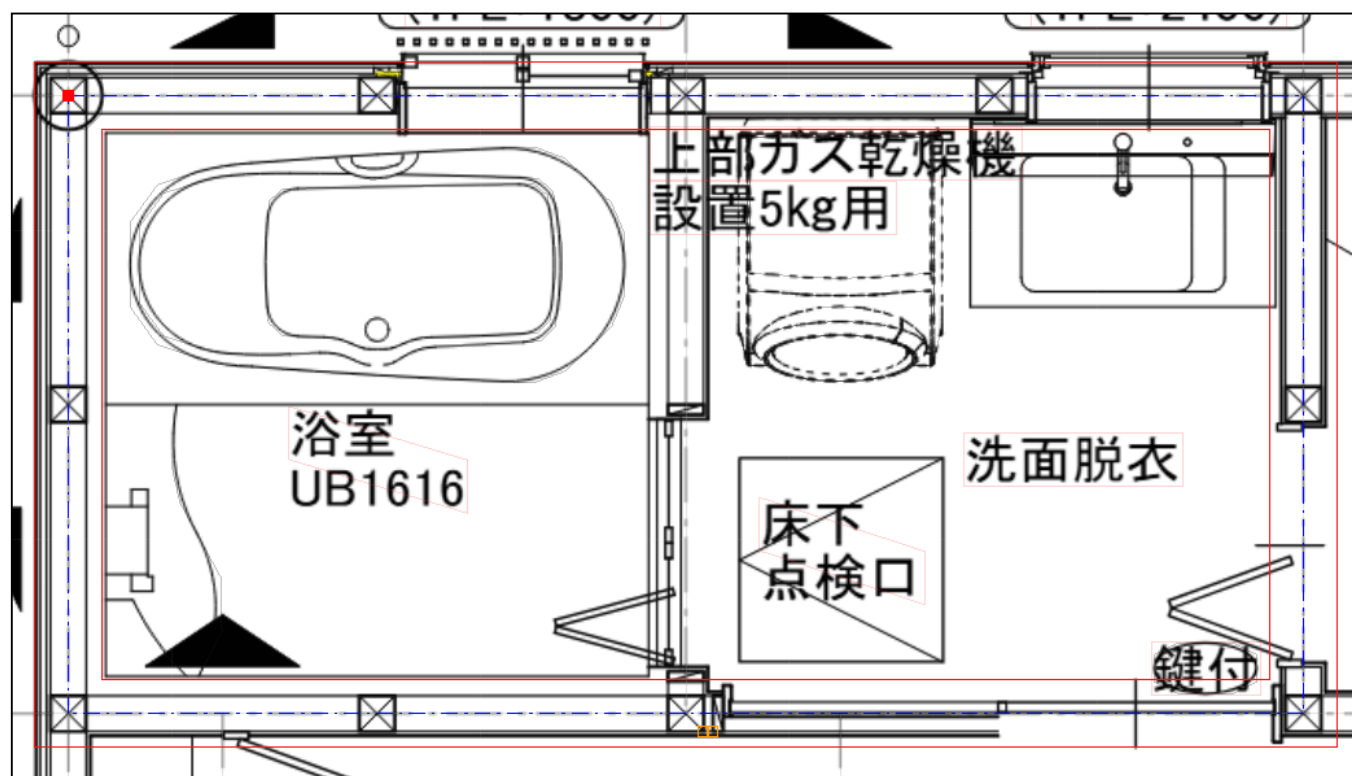
その後の壁厚も全て指定した厚さに変わります。

詳しいなぞり方は
P19 ～に記載

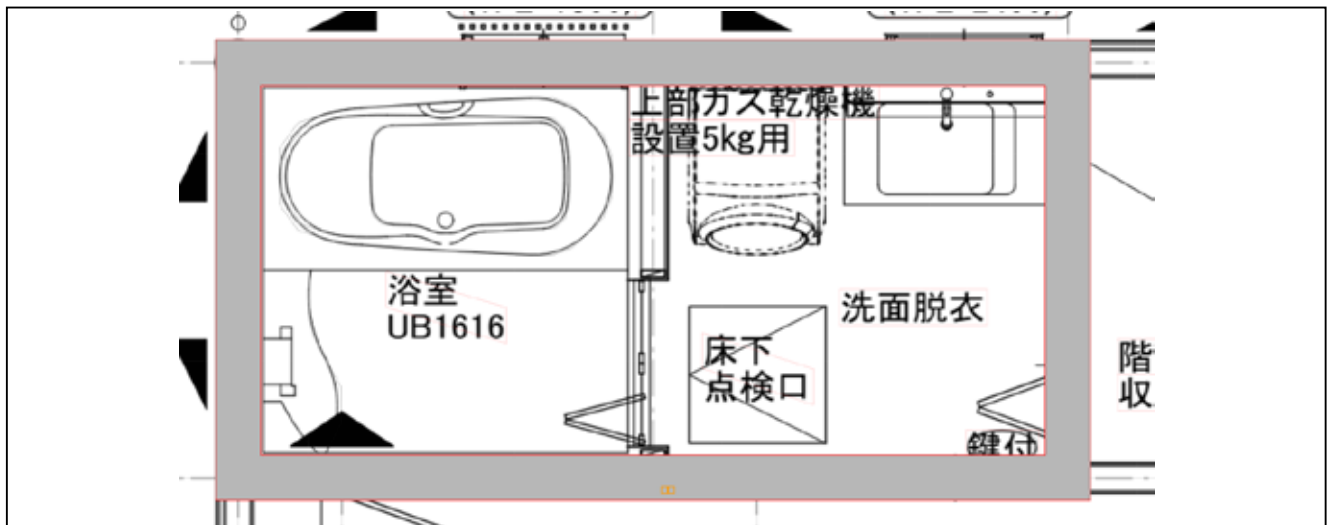
5) 角や部屋分けしたい箇所でクリックしながらなぞります。



6) UB と洗面脱衣を囲いました。 壁の分、赤い線がついています。



7) Enter キーを押すと壁の表示になります。



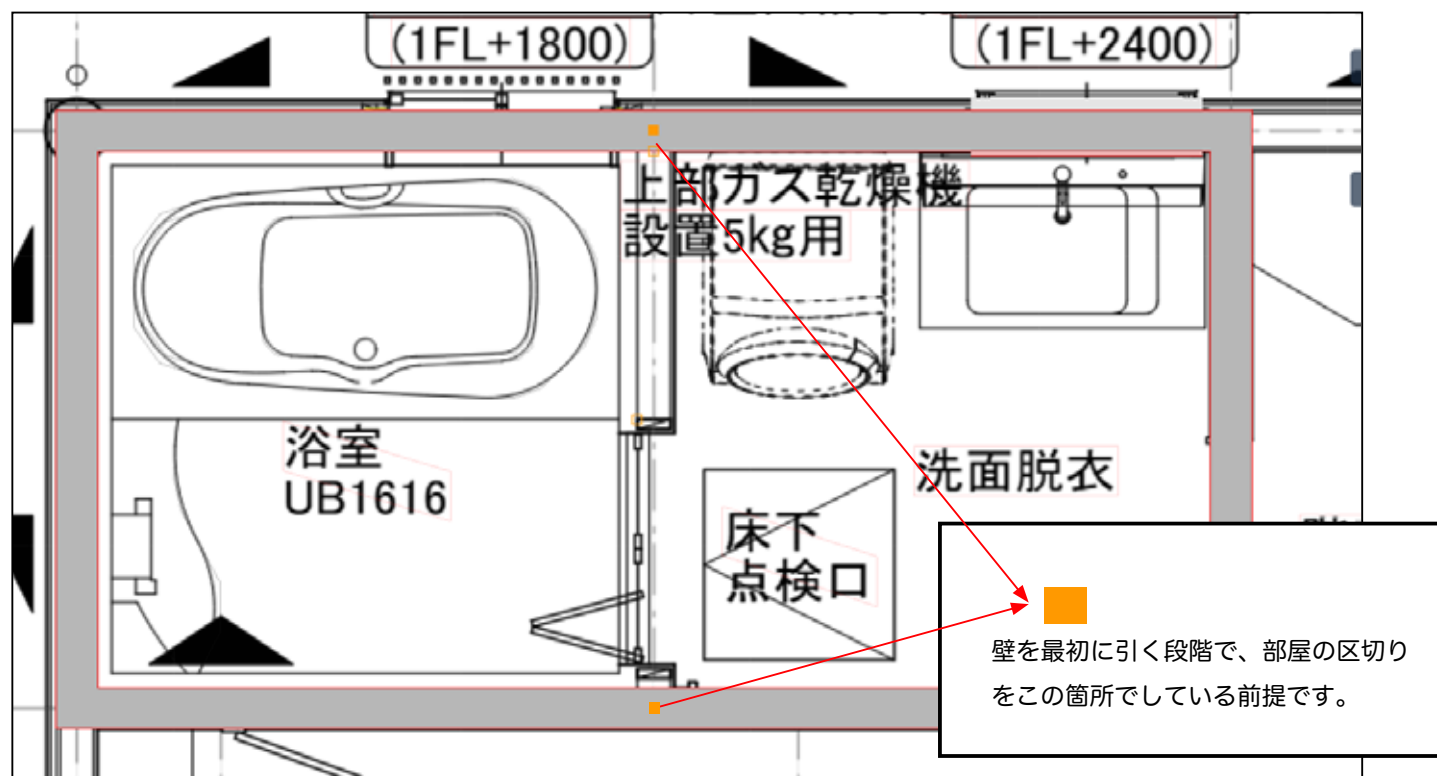
8) 右の表に 壁 の行が作られます。



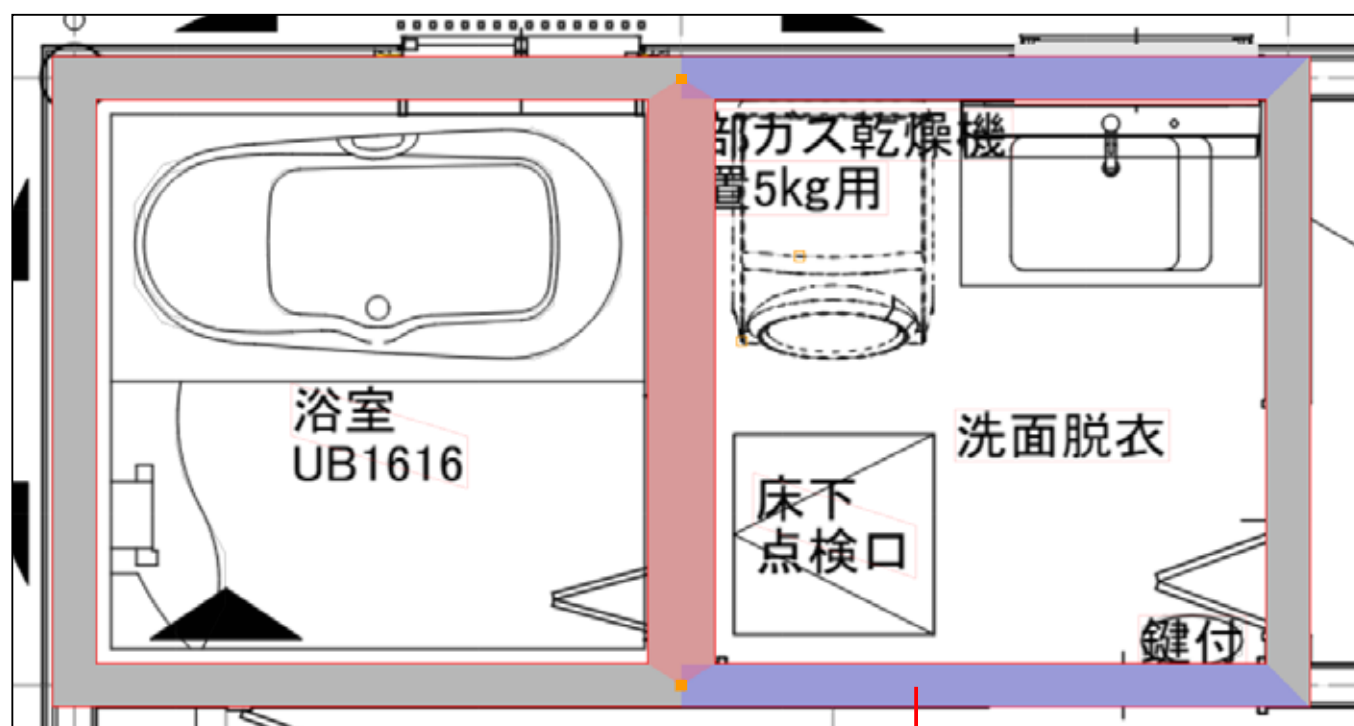
1度Enterを押した後に、続けて壁を入力する際は、必ず ○ の部分をチェックします。
チェックをせずに進めると別々の行になり部屋分けできません。



9) 開始と終了のどちらも ■が表示された箇所をクリックすると、部屋として分けられます。

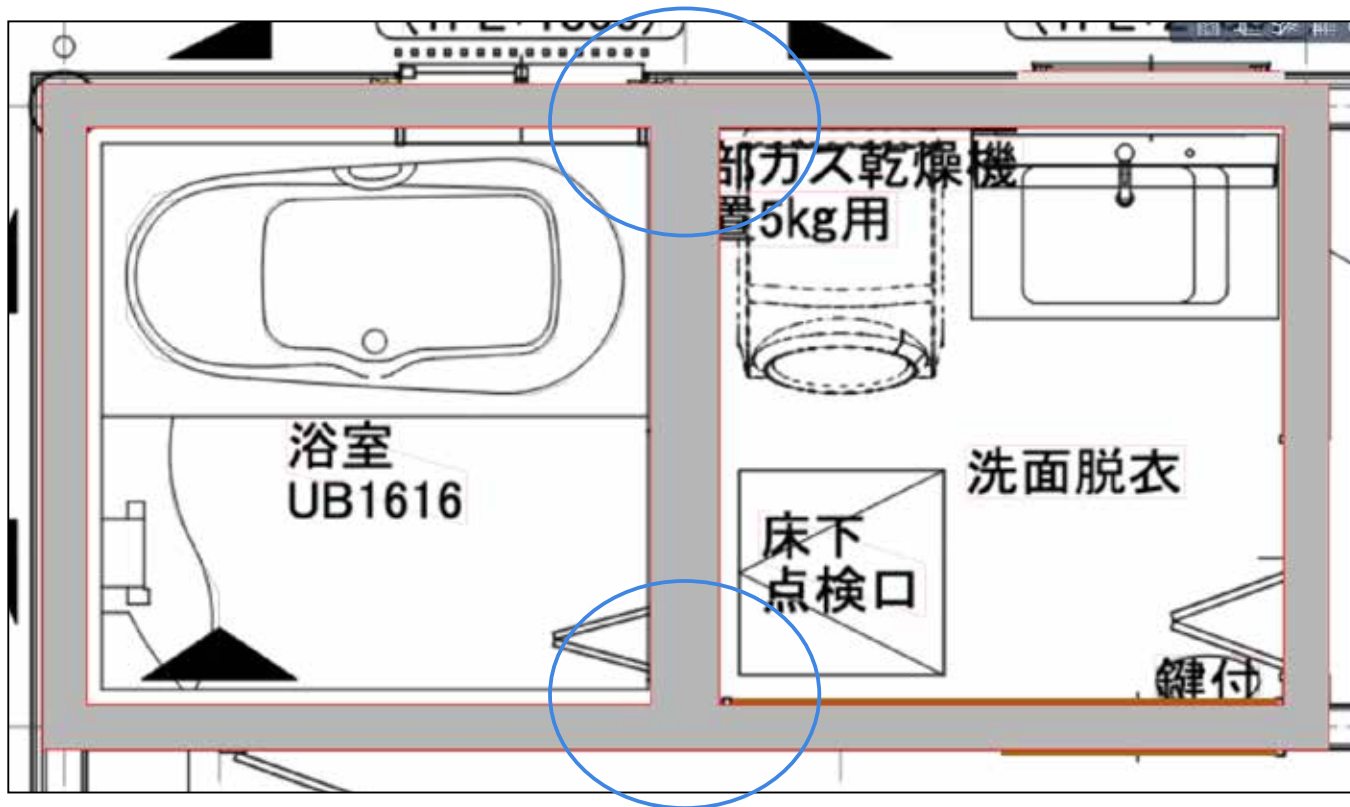


10) ■の箇所からマウスでなぞります。

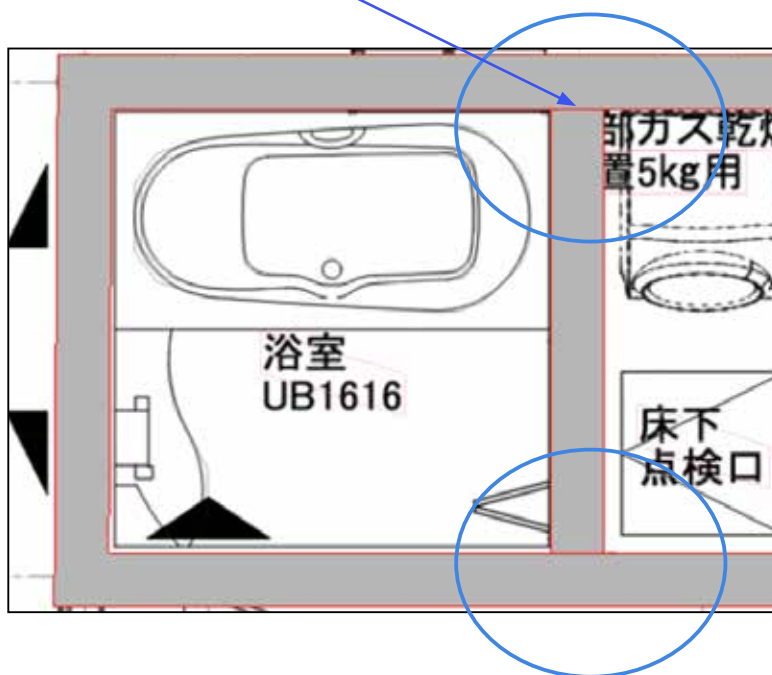


Esc キーを押すと、他の線についた色は消えます。

11) 線がなければ、部屋として分けられたということになります。



線がある場合は、部屋分けできていません。



部屋分けできない理由は、

①壁にチェックを入れなかったか、

②開始点・終了点がずれているか、

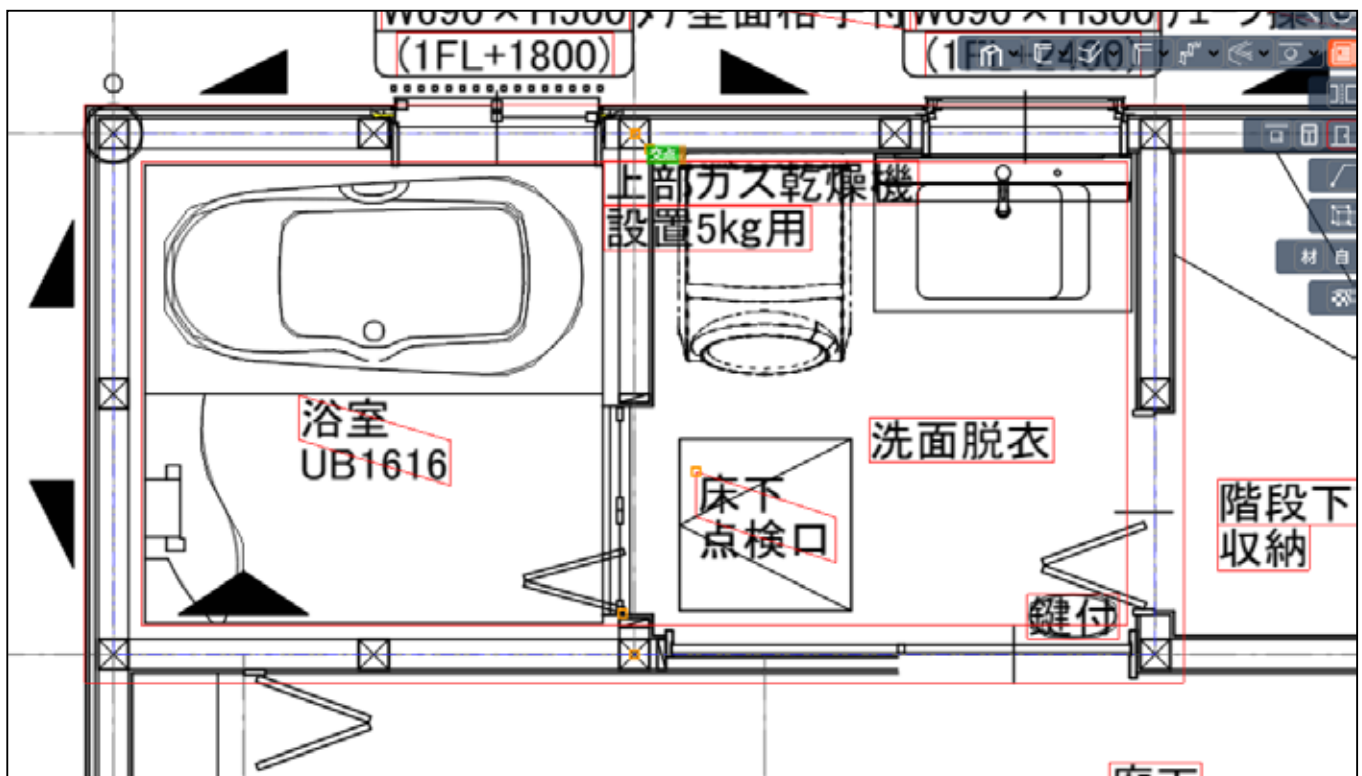
③部屋で分けるために、壁を一旦区切らなかったか (①とほぼ同じ意味)、

の、理由です。

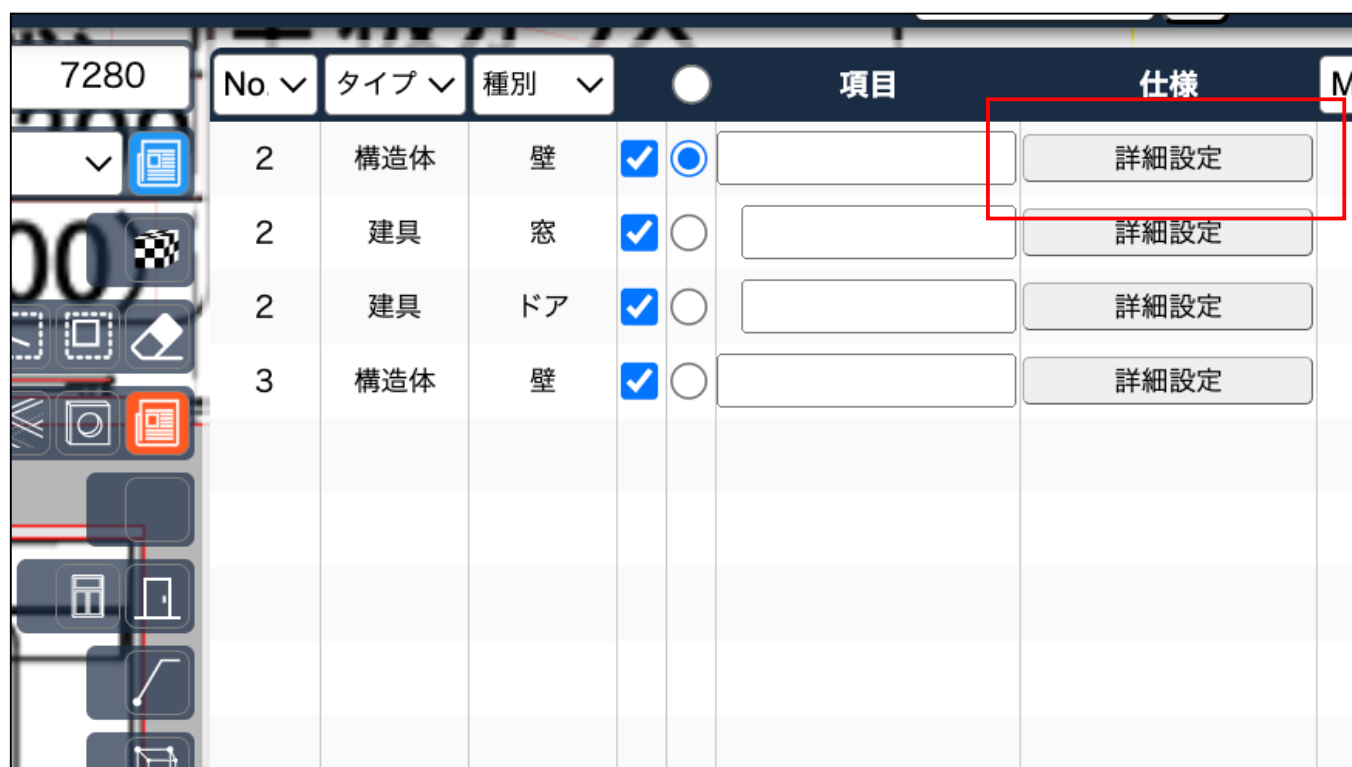
追加で壁を足す時に、仕上げ面（グレー色の壁）を線だけで表示することもできます。
下部の  をクリックし、仕上げ面のチェックを外すと、線だけで壁が表示されます。



線だけで壁が表示されています。



1 2) 部屋分けの確認は、右の表で確認します。 詳細設定を開きます。



No. ▼	タイプ ▼	種別 ▼		項目	仕様
2	構造体	壁	☒ ☒		詳細設定
2	建具	窓	☒ ☐		詳細設定
2	建具	ドア	☒ ☐		詳細設定
3	構造体	壁	☒ ☐		詳細設定

1 3) 部屋分け をクリックします。



PDF開く S 9100 詳細設定

部材 構造 表示 部屋分け

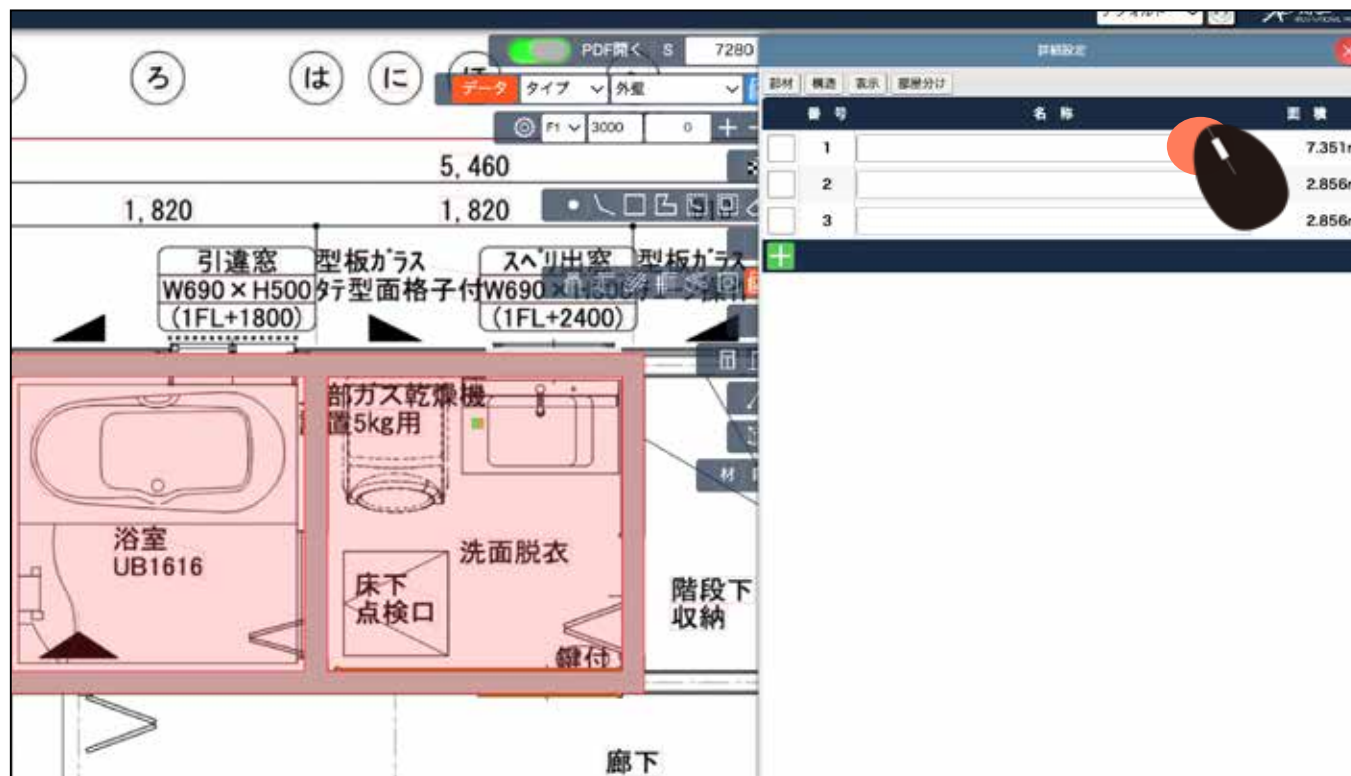
壁リスト

番号	厚み	偏移	高さ	
1	200	0	0	平
2	200	0	0	平
3	200	0	0	平
4	200	0	0	平
5	200	0	0	平
6	200	0	0	平

- 1 4) 部屋分けが自動で作成されています。 3つ表示されているのは、一番上が全体面積です。その後、自動で面積が大きい順に表示されています。

詳細設定		
部材	構造	表示
部屋分け		
番号	名称	面
☐ 1		← 全体
☐ 2		← 部屋 1
☐ 3		← 部屋 2
+		

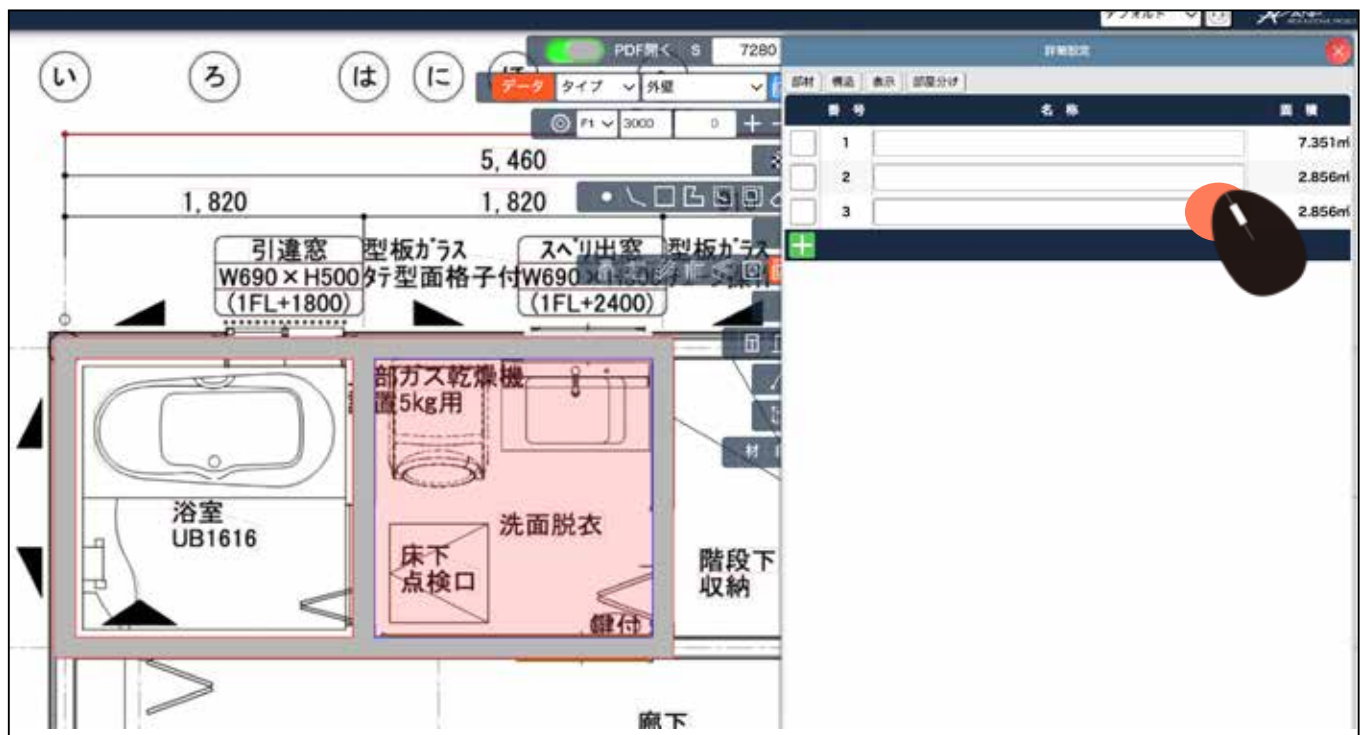
- 1 5) 右の表で一番上にマウスをあてると、左の図面の全体面積に色がつきます。



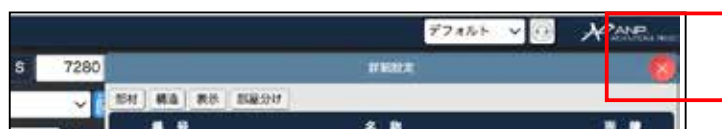
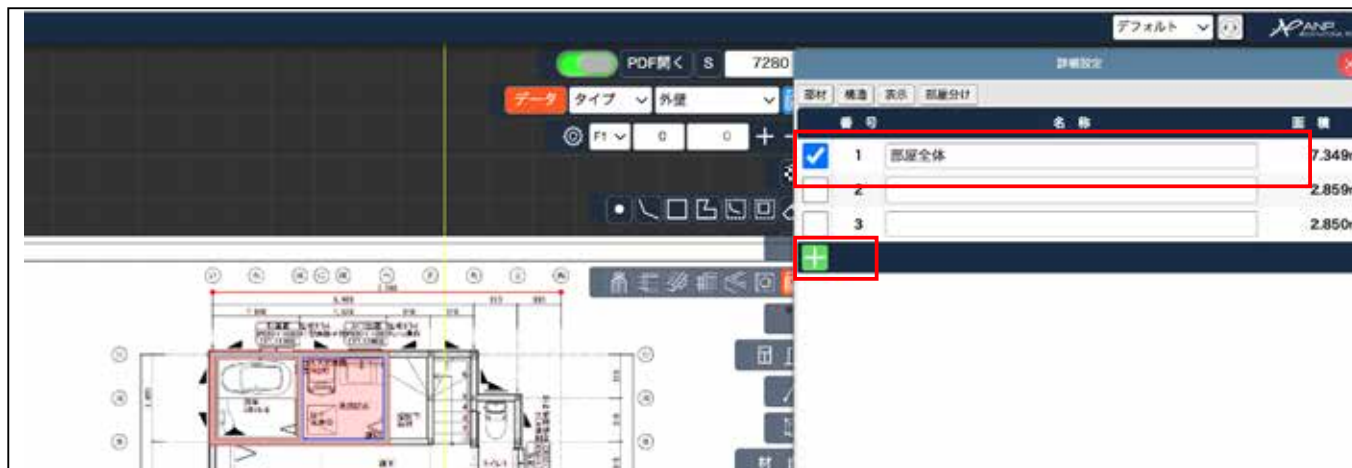
1 6) 2 行目にマウスをあてると、1 つ目の部屋に色がつきます。



1 7) 3 行目にマウスをあてると、2 つ目の部屋に色がつきます。自動で大きな部屋から順番に表示されるようになります。



- 1 8) 自動部屋分けされた部屋の面積を、表の一覧に表示する場合は、部屋名を記入し、左の□にチェックを入れ、 をクリックします。 右上の  で、閉じます。

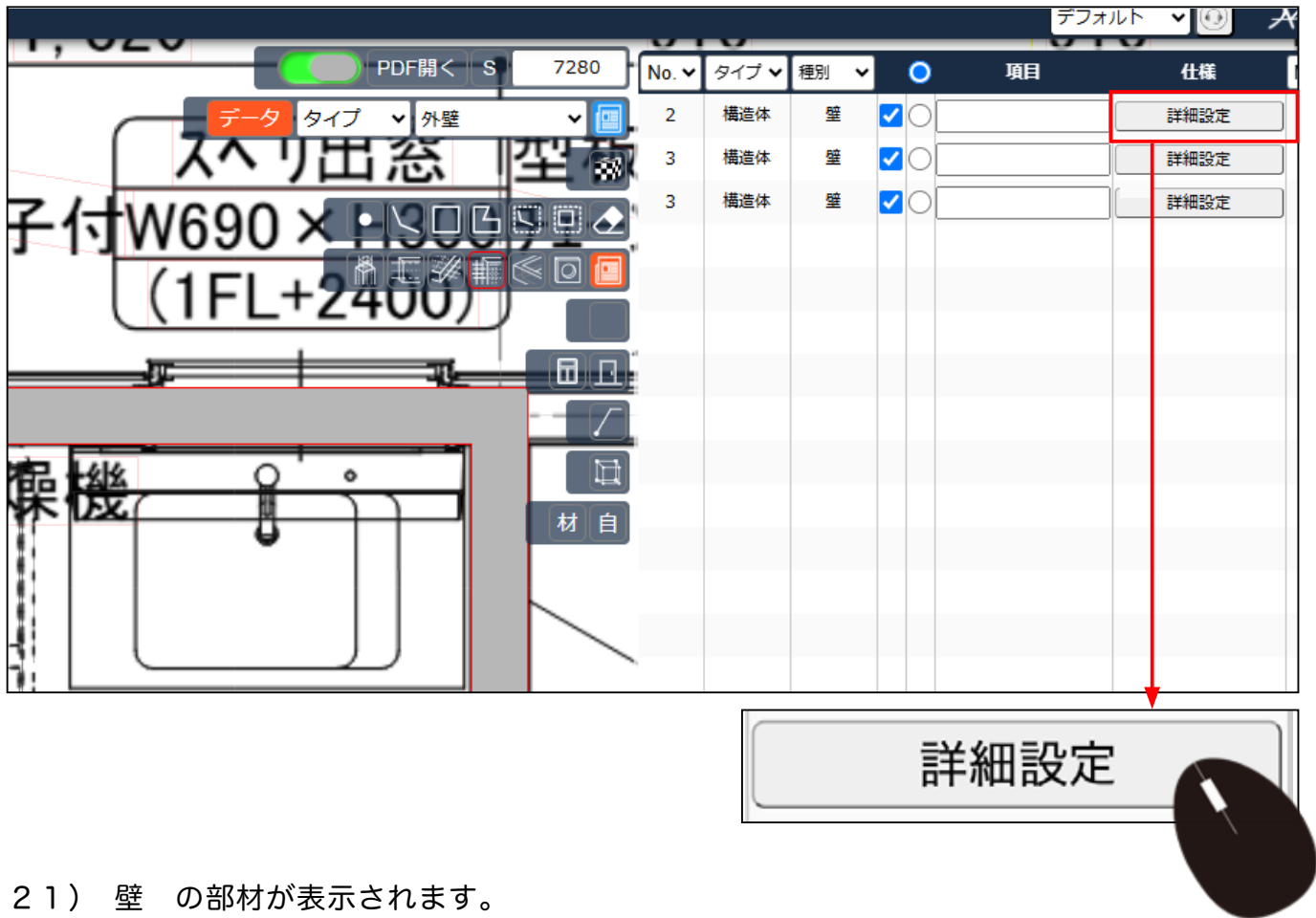


- 1 9) 右の表に部屋全体と入れた面積が表示されます。

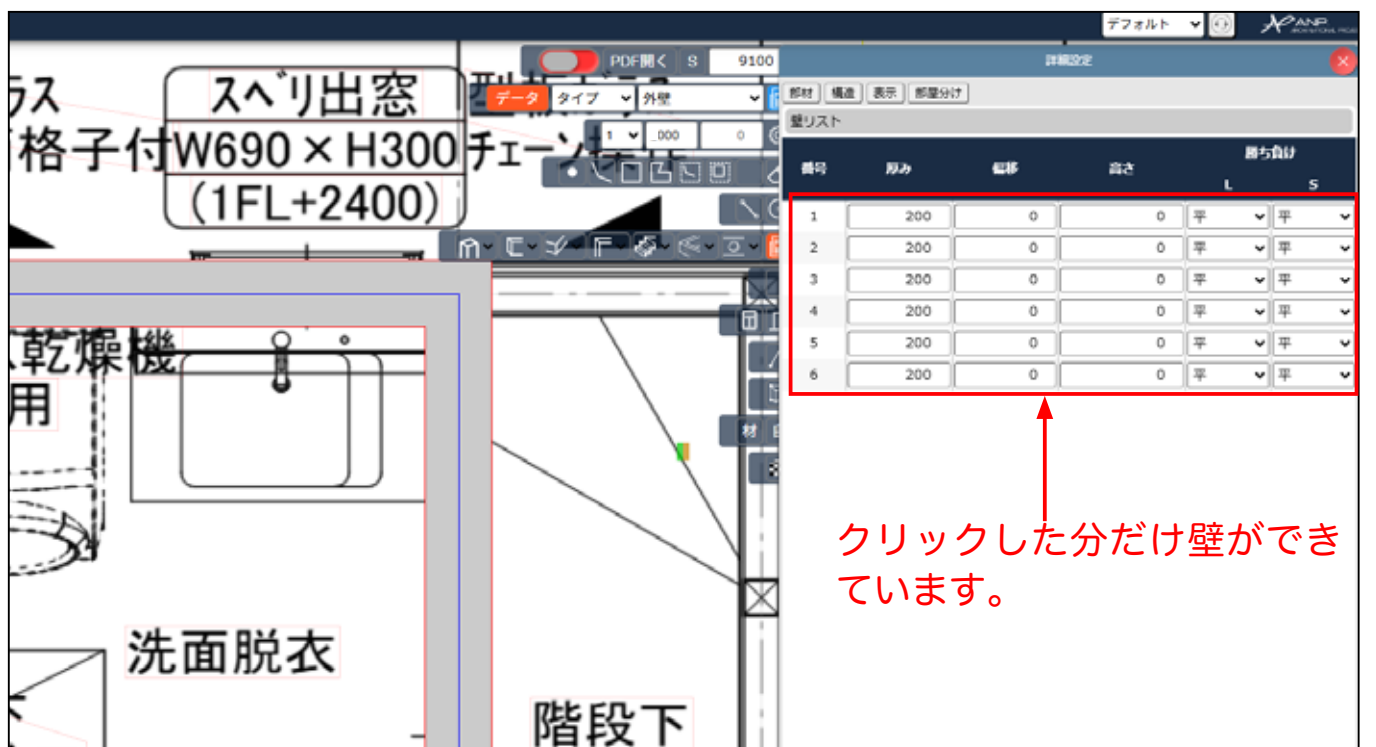


【壁の削除や編集】

20) 作成した壁の削除や編集は、右の一覧にできた 壁 の詳細設定をクリックします。



21) 壁 の部材が表示されます。



22) 壁の厚み、高さを変更できます。

高さはデフォルト 3000 (全体壁高さ) この箇所を変更すれば全部の壁高さが一気に変更されます。

1 ▼ 3000 0

壁リスト

番号	厚み	偏移	高さ	勝ち負け	
				L	S
1	200	0	0	平	平
2	200	0	0	平	平
3	200	0	0	平	平
4	200	0	0	平	平
5	200	0	0	平	平
6	200	0	0	平	平

高さをかえる場合、壁ごとでも変更できます。

壁の番号は、マウスを当てると表示されます。

設置5kg用

浴室 UB1616

洗面脱衣

床下点検口

階収

廊下

壁
仕上げ面
番号:5
有効面積: 0.361㎡

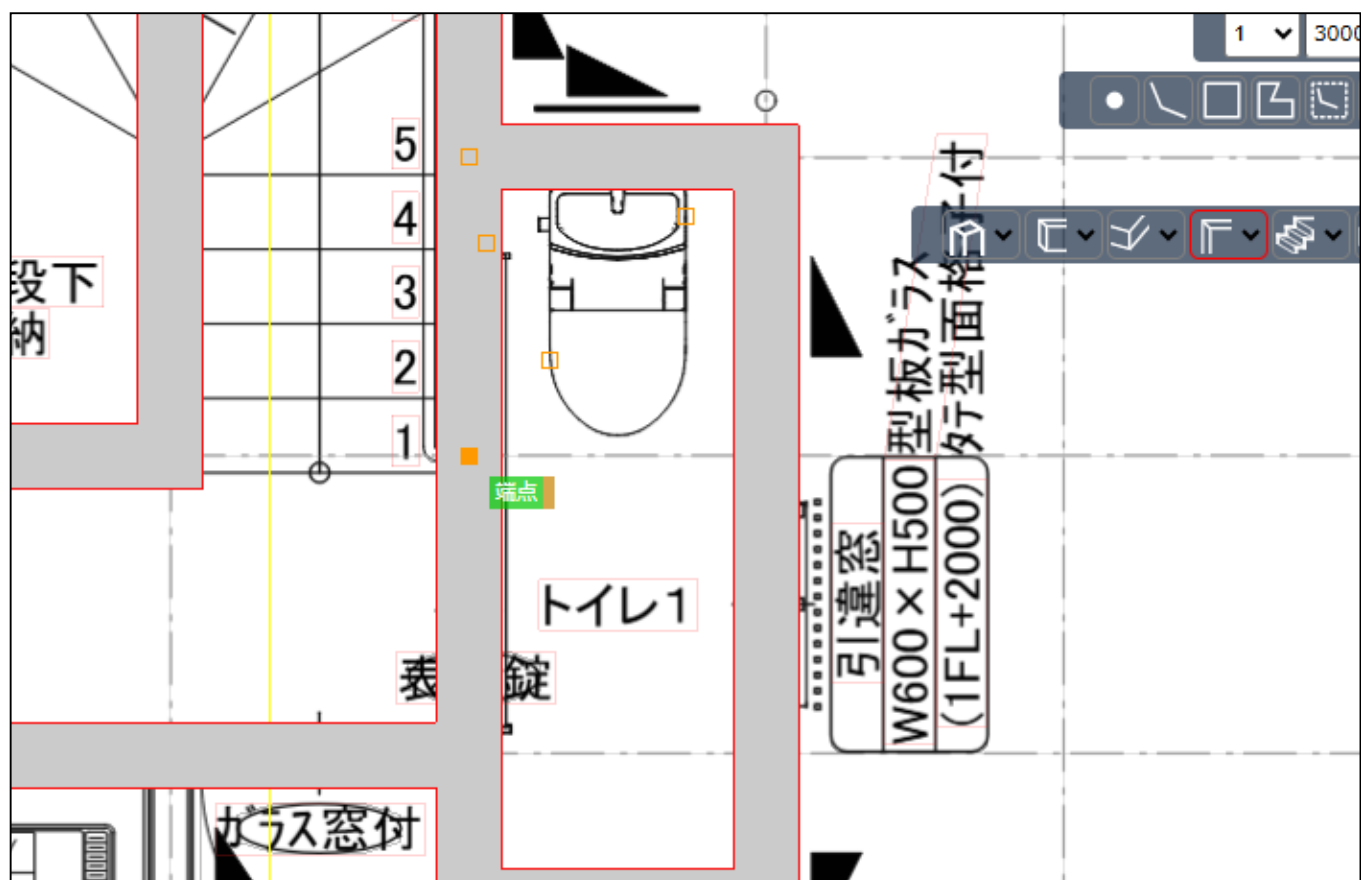
2 3) 図面側で、壁の番号を確認し、右の表から、壁を削除したり変更ができます。

番号	厚み	起移	高さ	層と負け	
				L	S
6	200	0	0	平	平
7	200	0	0	平	平
8	200	0	0	平	平
9	200	0	0	平	平
10	200	0	0	平	平
11	200	0	0	平	平
12	200	0	0	平	平
13	200	0	0	平	平
14	200	0	0	平	平
15	200	0	0	平	平
16	200	0	0	平	平
17	200	0	0	平	平
18	200	0	0	平	平
19	200	0	0	平	平
20	200	0	0	平	平
21	200	0	0	平	平

2 4) 削除は、目的の壁番号にマウスを当てると、削除マークが表示されるので、クリックして削除します。 右の表は、右上の赤丸 X、 で、閉じることができます。

25	200	0	
26	200	0	
27	200	0	
28	200	0	
29	200	0	
 30	200	0	

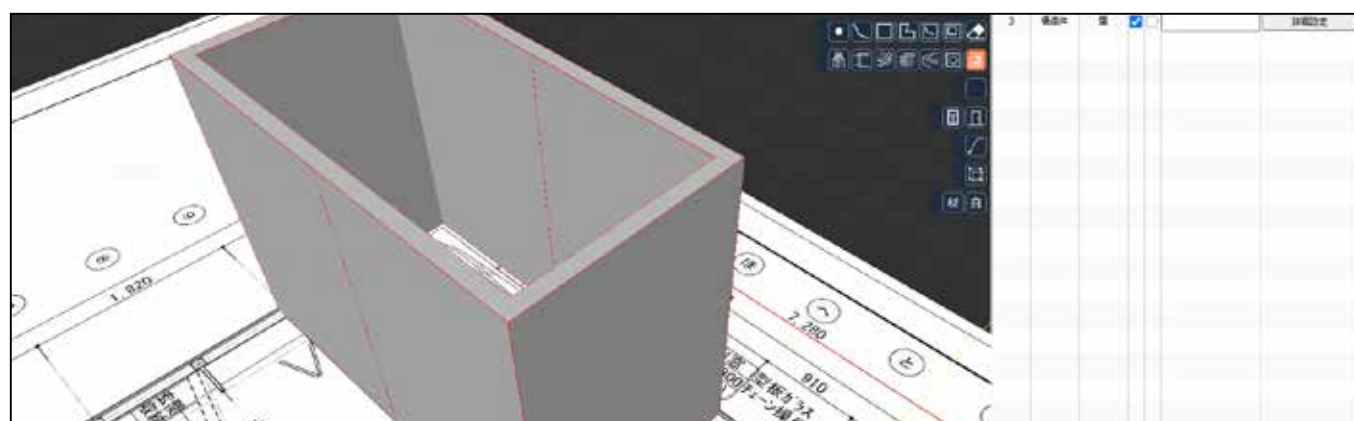
27) 新しく壁が繋がります。 部屋分けもできています。



28) 3D 化します。 下部の 平行投影 を 透視投影に変えます。

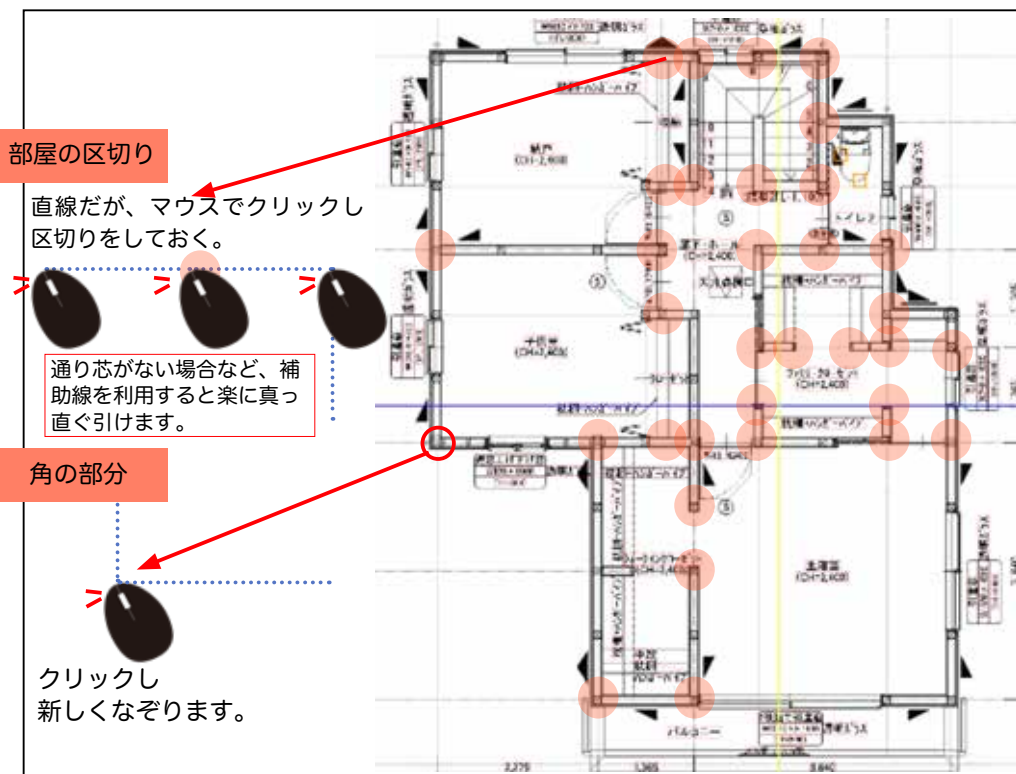


29) 3D 表示されます。



【なぞり方】

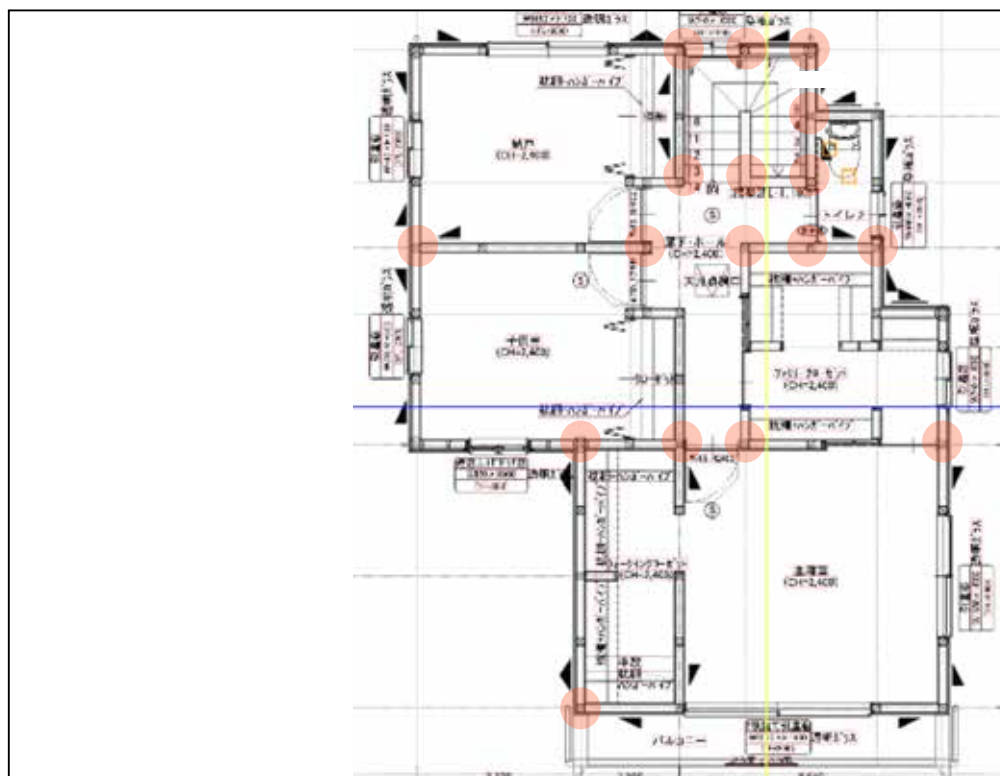
クローゼットを部屋として分ける場合



タイプ	種別			
構造体	壁	☒	☒	☐

右の表で必ず ☒ をチェックしておく

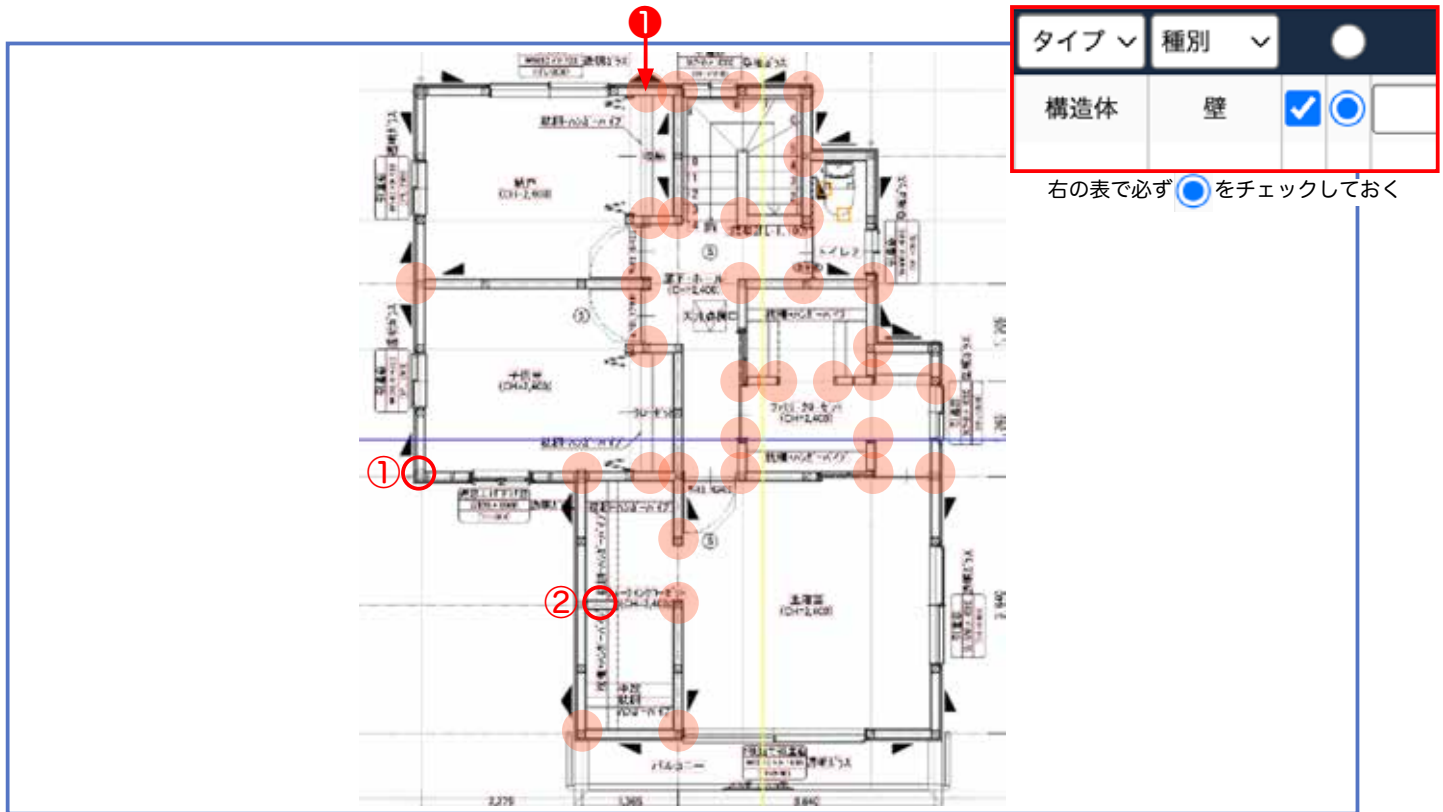
クローゼットを部屋として分けない場合



タイプ	種別			
構造体	壁	☒	☒	☐

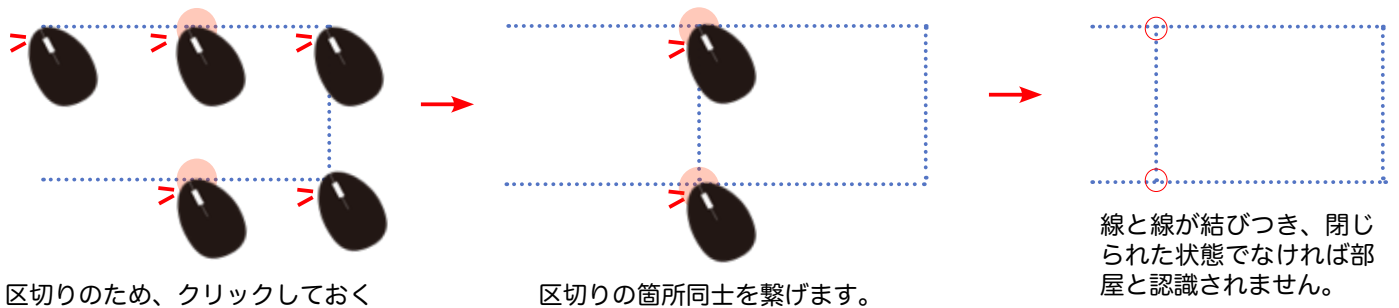
右の表で必ず ☒ をチェックしておく

【なぞり方】

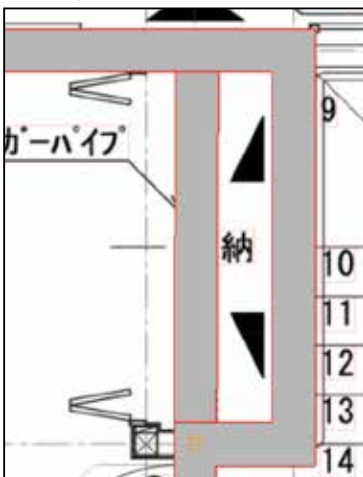


部屋の区切り

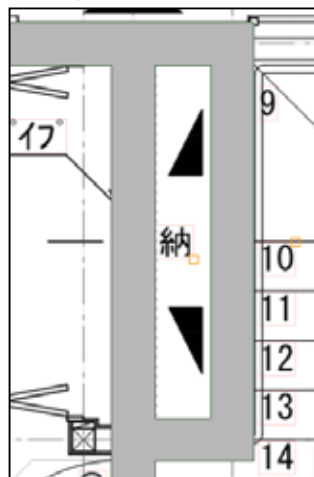
- ① 直線上を、マウスでクリックし区切りを入れておき、後から区切りの箇所から線をなぞり部屋として囲みます。



繋がっていない
部屋分けにならない



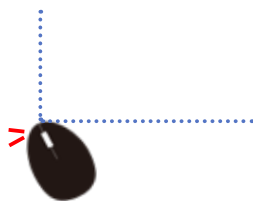
繋がっている
部屋分けになる



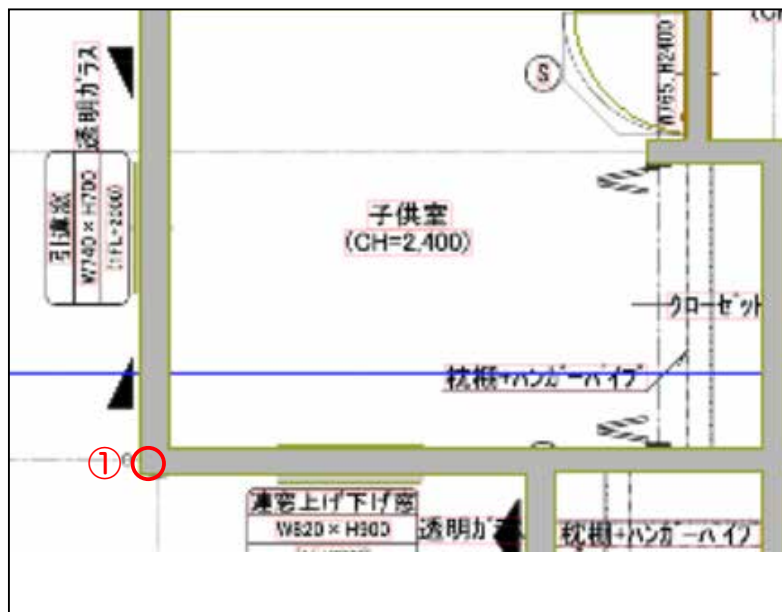
【なぞり方】

角の部分

①

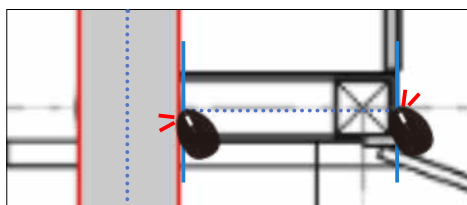


クリックし新しい方向へなぞります。

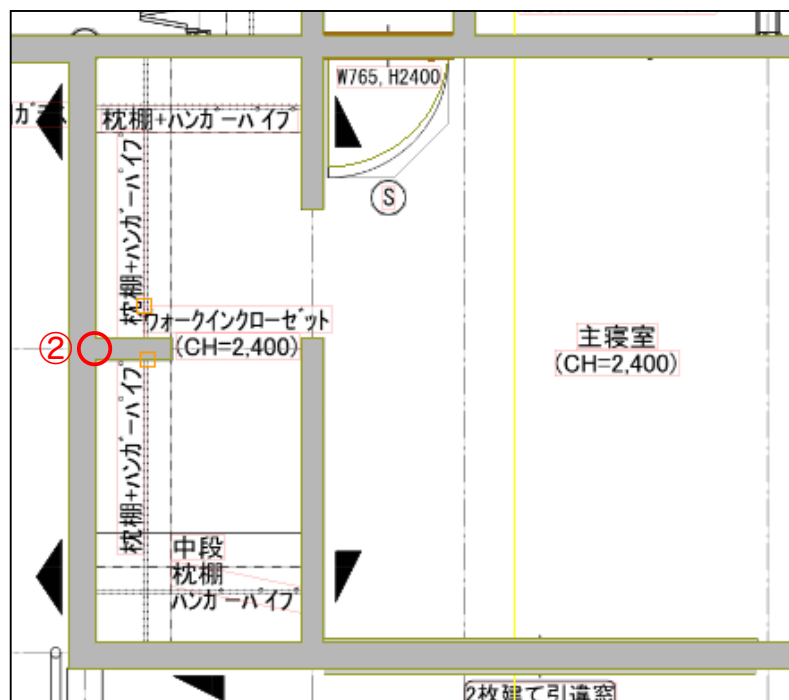
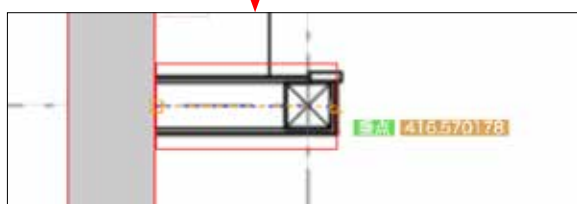


仕切壁の部分

②



開始と終了だけクリックし、Enterを押します。この場合、部屋分けの必要がないので、末端部分までマウスを引きます。



タイプ	種別			
構造体	壁	☒	☒	☐

右の表で必ず ☒ をチェックしておく

【図面位置移動】

マウスホイールを**押したまま**動かして移動します。



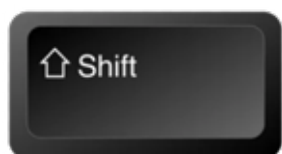
【3D時 360°操作】

マウスホイールを**押したまま**動かします。



【3D時 上下左右移動】

Shift + マウスホイールを**押したまま**上下左右に動かします。



+



※マウスホイールがないマウス

図面の位置移動はキーで操作できます。

